

## 医学部分館リニューアルオープン

堀 茂

平成13年7月10日(火)から9月14日(金)にかけて、耐震・内装・空調を主とした改修工事が行なわれることになり、7月1日(日)から9月24日(月)を休館とした。耐震・空調工事は1階の生協も含めた建物全体に及ぶ一方、内装工事は分館の主要部分に限定されていたが、当初予定に入っていなかった事務室内の工事も追加され、結果としてかなりの部分が改修の対象となった。



耐震のため増設された壁

休館が3ヶ月近くにも及ぶため、別の場所を確保(これがなかなかの難物)してサービスを継続する必要があった。幸い関係各方面からの協力もあって、資料等の退避場所に始まり、完全とはいかないまでも最終的には臨時の事務室、サービス窓口及びパソコン・コーナー、新着雑誌室、製本雑誌室、自習室を準備することができた。スペース上の制約からサービスは学内者に限定したが、逆にサービス時間は夏季休業期間中においても基本的に夜8時までとした。実施したサービスの概要

は次のとおりである。

(休館前)

1. 長期貸出(個人)
2. 製本雑誌の長期貸出(講座等)

(休館中)

3. 窓口
4. 文献複写(依頼)
5. 利用者用パソコンの利用(台数限定)
6. 新着雑誌の閲覧
7. 製本雑誌の閲覧(利用頻度が高く新しいものに限定)
8. 複写機の設置
9. 自習室の設置

リニューアルオープン後もしばらくはカオス状態が続き、ほぼ完全に近い形で開館できるようになったのはやっと10月に入ってからであった。館内は明るくなり、あたりの空気もなんとなく新鮮に感じられるなど、図書館の環境は大幅にアップした。だが失ったものもある。例えば吹き抜け部分の景観がそれであろう。かつてこの眺めを楽しんだ人たちは、視界をさえぎるコンクリートの壁に直面してなんと思うであろう。それに、近い将来の増改築の夢。

最後にこの間の愚痴を並べたてて(当人でないとわからない?) 終わりとする。猛暑と壊れかけたエアコン、機械のために設定された室内温度、資料の仮置き場所が医学系部局特有の場所、数で負け3階に押しやられた男性用トイレ、哀れな未改修部分、等々。

最後の最後として: 感謝! 感謝!

(ほり・しげる・医学部分館情報管理掛長)